



笠間市 地域包括支援センター
KASAMA

包括ケア会議だより



こんにちは。笠間市地域包括支援センターです。

まだまだ残暑が続きますが、皆様いかがお過ごしでしょうか？今年度は、集合会議の回数を増加したため、包括ケア会議だよりは3回のみ発行となります。

さて、9月の包括ケア会議は、個別検討会議となり、「認知症と発達障害の母娘のケース」について話し合いました。介護支援専門員、介護事業所、地域ケアコーディネーター、基幹相談センターが参加しました。

★本人が認知症で、介護者に発達障害があり本人の年金を当てに生活している介護者の支援について検討

発達障害のある介護者と認知症の本人が同居していますが、関係が悪く家はゴミであふれています。本人は在宅生活を希望していますが、介護者は面倒を見れないと主張しており、今後どうしていくか検討しました。

本人と介護者の関係者が共に協議することで、初めて発覚した点が多々ありました。

介護者は私欲のためお金を遣っている様子はなく、口では介護できないと言いつつ、家事をこなし、受診同行や不明な点を質問するなどできる限り対応してます。担当者より、障害特性が強いため具体的な指示で

ないと理解が難しいと指摘がありました。逆に具体的に指示することで、生活支援や適切な介護に繋がるとも言えます。

また、家族は移動手段もなく支援者も少ないため、県外の親族にも相談してみる事となりました。

本人はサービスに繋がってはいるものの、介護者の関係者、介護事業所の方の話聞くことで、介護者についてこれまで見えなかった一面も把握でき、今後の支援について再確認ができました。

＊＊7月の検討事例の経過報告＊＊

★「認知症で薬のコントロールができず、介護サービスで不穏になり家族が困っているケース」

かかりつけ病院以外にもかかってみたが、家族は本人の認知症も変化が生じているのでどのように対応していったらいいのかよくわからなくなっているそうです。7月のケア会議は薬剤師の方からの事例提供でしたが、会議終了後から薬剤師と多職種顔の見える関係ができたことで、今までよりも連絡してみようという気持ちになったそうです。連携を強化することで本人や家族への支援がよりよくなることを期待します。

検討事例募集中

困難事例でお悩みでしたら、一緒に事例検討しませんか？
下記までご連絡よろしくお願いたします。

